

リボルトレイダーの21



牡 2021年4月29日生 | 芦毛 | 美浦・池上昌和厩舎 | 笹川大晃牧場生産

一口価格：**26,400円** ※2023年保険料 845円 募集口数：500口【競走馬出資金総額 1,320万円】



POINT

父ラニは現役時代550キロの雄大な馬体で国内のみならず米国、ドバイのダート競走で活躍しました。本馬は1歳夏の時点で約450キロ、見た目にもドッシリ感があり、これからの成長が楽しみでなりません。血統的にはダート色が濃く、きょうだいの勝ち星もダート戦に集中。歩様からは力強さを感じられ、筋肉量の増加とともにさらに見栄えのするパワフルな馬体になることでしょう。この世代から始まる3歳ダート3冠路線を目指すにはうってつけの存在ではないでしょうか。

治 郎 丸 敬 之 の 馬 体 診 断

ラニの産駒は芦毛の馬が多くて目立つこともあり、印象に残ります。父譲りの気性の難しさゆえレースに集中できず、持ち前の馬格の良さからくるパワーを生かし切れていない馬が多いのですが、リボルトレイダーの21はその顔つきを見る限りにおいては、本当にお父さんはラニですか？と聞きたくなるほど穏やかな表情をしています。育成が進むにつれて気性の激しさは多かれ少なかれ出てくるはずですが、許容範囲に収まるのではないのでしょうか。母の仔たちは総じて勝ち上がっているように、もしかすると精神面の安定を産駒たちに伝えているのかもしれませんが。リボルトレイダーの21の馬体は父ラニ譲りの馬格の大きさがあって、がっしりとした低重心のパワータイプであり、いかにもダート馬というシルエットです。やや前軀が勝っているので、今後、成長と共にトモに実が入ってくれば、両輪駆動の先行差し馬として活躍できるのではないのでしょうか。馬体的にはマイル前後の距離が適性ですが、気性に落ち着きを保つことができれば、距離延長にも十分に対応できそうです。